

ダンボ通信

☆第195号☆

発行日:2026年1月



****ダンボクラブについて****

発達障がいなどのようなものか知っていますか？
私たちは、そんな子どもたちを育てています。
この広報は、ダンボクラブがどんな活動をしているのか
知っていただくために作りました。

★★★活動報告★★★

★保護者会 12/20(土)★

役員会と座談会を行いました。座談会には、見学の方も参加されました。近況報告をしたり、お子さんの進学や就職、日常生活の悩みについて話し合ったりしました。

★成人当事者会「ワンピース」12/21(日)★

座談会とお楽しみ会を実施しました。参加者21名(うちスタッフ1名)
昨年と同じプログラムで、前半は自己紹介と近況報告、後半はお楽しみ会でゲームをしました。5か所のテーブルに分かれて、メンバーが入れ替わりながら、持ち寄ったカードゲームやボードゲームを楽しみました。あちらこちらから一喜一憂の音が聞こえてきました。最後は、じゃんけん大会の後、くじ引き順にプレゼントをゲット♪一本締めで1年を締めくくりました。



★ふれあいスポーツ大会 12/6(土)★ ※成人当事者会「ワンピース」が参加

6名でポッチャにエントリーしましたが、都合により1名欠席し、5名での参戦となりました。4チームずつのリーグ戦で、試合を行いました。ワンピースの勝敗は2勝1敗で、リーグ2位！1回戦→2-7× 2回戦→3-20 3回戦→6-10 それぞれにファインプレーも続出し、大いに盛り上がりました。決勝トーナメントには勝ち上がれませんでした。お昼休憩に全員で近くのラーメン屋さんでランチをして、親睦を深めました。



愛媛県不登校支援冊子

愛媛県内で“不登校”の定義に当てはまる子どもの数が4,600人を超えました。

そんな中、愛媛県内の不登校支援情報を1冊にまとめた

『学校に行きたくなくて、立ち止まったときに読む 愛媛の本』

の一般販売が始まりました。

県内の支援団体情報一覧、子どもたちの体験談、保護者の体験談、各分野で支えてくれている方たちからのメッセージなど、県内の情報が盛りだくさん！

地域や分野を越えて、愛媛県内の不登校に関する情報が集約されています。(全92ページ))

冊子購入申し込み
フォーム



愛媛県不登校支援冊子

2025年度～

『学校に行きたくなくて、立ち止まったときに読む 愛媛の本』完成！



一般販売

申込み受付中

1冊 1,000円(送料込)
〈500冊限定販売〉

県内の支援団体情報一覧、
子どもたちの体験談、
保護者の体験談、
各分野のコラム多数！



息子が毎年出場している愛媛マラソンまで、1か月を切りました。10km走や30km走など走る練習はもちろん、鍼治療や整体に通ったり、アルコールを控えたりして、着々と準備を進めているようです。
「少し体重を落としたい」と言うので、食事メニューにも気を遣っています。いつもは作らない野菜たっぷりのメニューなどは、あまり好きじゃないはずですが、残すことなく頑張っています。子どもの頃は、少しでも嫌いな食材が入っていたら大暴れでしたが、成長したものです。
無事に完走できそうですよ。欲を言えない記録が出せたらいいのですが。(亜)

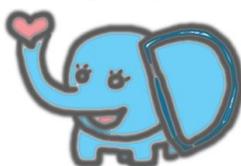
ダンボクラブでは、発達障がいについて広く理解していただくための啓発活動を行っています。ご賛同いただける方の温かいご支援を募集しています。

ボランティア活動にご興味のある方、ご寄付いただけます方は、下記までご連絡下さい。

お問い合わせ: damboclub@gmail.com

お振込口座: 伊予銀行 小栗支店 普通 1321818

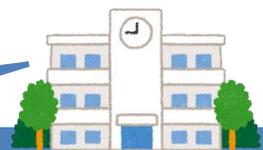
ダンボクラブHP → <https://www.dunboclub.com/>



不登校支援について

2024年度の不登校児童生徒数は、
過去最多の35万人（文科省調べ）

学校の支援



校内教育支援センター（校内スペシャルサポートルーム）

・学校には行けるけれど自分のクラスには入れない時や、少し気持ちを落ち着かせてリラックスしたい時に利用できる、学校の空き教室等を活用した居場所のことです。お子さんのペースに合わせて相談に乗ってくれたり学習のサポートをしてくれたりします。

スクールカウンセラー、ハートなんでも相談員、スクールライフアドバイザー

・児童生徒の話を聴き、心のケアなどを行います。教育委員会から学校などに派遣又は配置される方のことです。公認心理師や臨床心理士などの資格を持っている方もいます。

スクールソーシャルワーカー

・児童生徒やその保護者に福祉・医療的な支援が必要な場合に、福祉の窓口につないでくれたり、手続きの補助などをしてくれたりする福祉の専門家、教育委員会から学校などに派遣又は配置される方のことです。社会福祉士や精神保健福祉士などの資格を持っている方が多いです。



学校外の機関等の支援

教育支援センター

・各地域の教育委員会等が開設していて、一人一人に合わせた個別学習や相談等を行います。公共施設の中にあることが多く、利用料は基本的に無料です。

フリースクール等

・学校や教育支援センター以外の、日中の時間帯に不登校の子どもが学習をしたり、興味のあることに取り組んだりできる民間の教育機関です。

親の会

・不登校のお子さんを持つ保護者同士が、情報交換を行ったり不安や悩みを共有したりすることができます。

これまでの不登校支援は、校内サポートルームの設置や学校の先生による家庭訪問が中心でした。学校外の場所へ通所できる場合は、教育支援センターやフリースクールへ通うという手段もありましたが、不登校児童生徒の増加とともに、「家から出られず外部とのつながりがまったくない子」が増えてきました。そこで、自宅から出るのが難しい子どもたちに、学習の機会や他者とのつながりを持ってもらうことを目的に、愛媛県総合教育センター内に、愛媛県教育支援センター（メタサポセンター）が設置され、家庭からでも社会的なつながりを持てる場所として、メタバースを活用した「メタサポキャンパス」が整備されました。（2023年4月～）

愛媛県教育支援センター（メタサポセンター）は、不登校支援の拠点として、学校や関係機関と連携し、児童生徒を支援しています。

https://center.esnet.ed.jp/ken_shiencenter_metasapo
愛媛県教育支援センター 089-963-3113（内線:126）



メタサポキャンパスは以下のような部屋で構成されています。

- ・メタサポキャンパス内で最も広いスペースで、イベントなどを行う「グリーティングルーム」
- ・時間割の提案をする「スタートルーム」
- ・学習動画を活用した自主学习が行える「スタディルーム」
- ・料理に関する情報が提示された「クッキングルーム」
- ・おすすめの映画を紹介し合う「ムービールーム」
- ・タイピングを行う「タイピングルーム」
- ・動画等を活用して調べ学習ができる「リサーチルーム」
- ・ワークショップが開催される「ワークショップルーム」

